



鉱業博物館館長に 石山大三教授が就任しました

令和2年4月1日（水）、当館館長に秋田大学大学院国際資源学研究所資源開発環境コース教授の石山 大三氏が就任しました。研究分野は金属鉱床学、地球化学、環境地質学です。これまで当館との関わりが深く、鉱石標本の寄贈や解説書の執筆、博物館を利用した授業も行っています。

石山館長は就任の挨拶で、「海外の博物館では、子ども達が館内で楽しめるように工夫されているところも多くあった。当館も、大人だけでなくもっと子どもが楽しめるような施設にしていきたい。」と抱負を述べました。来館者にご記入いただいているアンケートでも、子ども向けの展示やイベントに関して多くの意見が寄せられています。スタッフ一同、皆さんにより親しんでいただけるような魅力のある博物館を目指していきます。



石山 大三館長

令和2年度

鉱業博物館サイエンスボランティア募集のお知らせ

鉱業博物館では令和2年度鉱業博物館サイエンスボランティアを募集します。サイエンスボランティアは博物館の様々な活動に参加し、運営をサポートします。活動内容は、館内の案内や団体客見学時の誘導、環境整備、工作や情報分野の作業などです。

鉱物や化石、鉱山に興味がある方、木工や電気などの特技を活かしたい方、社会貢献活動がしたい方などの参加を募集しています。下記問い合わせ先まで、お気軽にお問い合わせください。



見学者への館内案内



環境整備活動

- ▶ 活動期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日
- ▶ 活動内容 見学者への案内や説明
イベントのサポート
環境整備
- ▶ 募集対象 高校生以上の方

問い合わせ先 鉱業博物館事務室
TEL:018-889-2461
(土日祝除く9時～16時)
E-mail: w3admin@mus.akita-u.ac.jp

ちしつすふく 地質図幅 が寄贈されました

令和2年3月、秋田大学鉱山学部物理探査研究室を卒業された高見雄三様より地質図幅を寄贈していただきました。寄贈されたのは、北海道立地質研究所（現:北海道立総合研究機構地質研究所）、工業技術院地質調査所（現:産業技術総合研究所）発行のものをはじめ、秋田県を含む全国の地質図幅です。大変貴重な資料であり、今後、教員や学生の研究に活用していきます。

学外の方の利用停止について

当館では、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、4月2日（木）から当面の間、秋田大学教職員、学生以外の方の利用を停止しています。なお、土日、祝日は学内者も利用できません。ご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんが、ご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。ご利用についての情報は、当館WEBサイトでご確認ください。